

# 化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

科目タイトル	社会技術革新学各論5		
科目概要	<p>「ものづくり日本」の復活が本当にできるか、設備投資が継続的に実施されるか、これからが技術立国の実力を試される時となる。現在では経営と技術は一体のものであり、特に製造業においては技術力がなければ企業の成長、発展はないという事実を各企業の具体的なケースを取り上げることによって理解を深め、確認していくことが目的である。</p> <p>各企業が技術開発の成果を挙げるために経営管理上でどのような工夫をしているか、また技術開発の成功率を高めるためにマーケットのニーズをいかにして把握し、それに沿ったシーズをどのようにして育てマッチさせていくか。実際に企業において担当した講師各氏が詳細に解説する。</p>		
	共催機関名:ディレクトフォース	レベル:(教養)	講義枠:月 18:30-20:00

サブタイトル	No.	講義タイトル	講義概要	講義日	講師名	所属
経営戦略における技術	1	技術立国ニッポン・・・強さの秘訣	ブリヂストンが九州久留米に誕生してから、現在世界三強の地位を占めるにいたるまでその経営力を支えてきたのは技術開発力の強さである。世界三極体制での技術開発陣の運営、F-1レースに挑む究極の技術開発とその成果の生かし方、技術統括者と経営トップとしてのジレンマ、面白さ等を具体的に説明する。	9/6 18:30-20:00	原田 忠和	ブリヂストン 元副社長
	2			9/13 18:30-20:00		
	3			9/27 18:30-20:00		
マーケティングと技術開発	4	商品開発で成功するにはケーススタディー①	花王の強さは、消費者のニーズにマッチした商品をタイムリーに開発していくというDNAにある。独自技術を生かせるものでなければ商品開発の対象にしないという「五原則」、徹底したマーケティングによる商品開発の実例を講師が事業本部長として成功させた「クイックルワイパー」のケースで説明する。	10/4 18:30-20:00	山田 重生	花王 元取締役
	5			10/18 18:30-20:00		
	6			10/25 18:30-20:00		
	7	商品開発で成功するにはケーススタディー②	「売れる商品」を誰もが狙っているが、必ずヒットするという保証はない。講師は日産自動車において設計からCMまでを一貫してプロジェクトマネージャーの立場で担当し、二代目「セフィーロ」をいかにして売れる車に仕上げるかに尽力した。技術開発、マーケティング、マネジメントの総合力発揮がポイントとなる。	11/1 18:30-20:00	藤井 篤	日産自動車 元取締役
	8			11/8 18:30-20:00		
	9			11/15 18:30-20:00		
10	商品開発で成功するにはケーススタディー③	各種リサイクル法の施行により、環境機器、環境ビジネスの市場は伸長しているが、廃棄物処理が中心となるため、技術開発の目標を絞り込み、競争に勝つための差別化を図る必要がある。しかも、厳しい制約の中で循環型社会の構築という中長期目標達成のために乗り越えなければならない課題は多い。	11/22 18:30-20:00	大谷 浩一	荏原製作所 元取締役	
11			11/29 18:30-20:00			
12			12/6 18:30-20:00			
プロジェクトマネジメント	13	技術・商品開発成功へのツール	上記三つのケーススタディーはハードの売れる商品開発のためのプロジェクトマネジメントであるが、ここではそのツールとしてのソフト開発のプロジェクトマネジメントを取り上げる。またソフト開発におけるリスクマネジメントについても説明する。	12/13 18:30-20:00	篠原 寿一	日本IBM 元SE研究所
	14			12/20 18:30-20:00		
	15			1/17 18:30-20:00		